

平成30年度 重点事業及び事業計画

平成30年度重点事業

公益社団法人福岡県看護協会は、使命として「県民の健康な生活の実現」に寄与するため、「専門職業人としての看護の質向上」「働き続けられる環境づくり」「地域のニーズに応える看護職による訪問看護等の地域医療の推進を図る」ことを定款第3条に定めている。

少子・高齢、多死社会を迎え、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる2025年問題では、高齢者が住み慣れた地域で最期まで過ごすことができるシステム作りが推進されている一方、看護職の不足も懸念されている。看護職の確保と定着は喫緊の課題であり、看護職の離職防止と働き続けられる職場環境づくりに取り組むことが求められている。また社会のニーズに対応できる看護職の育成が必要である。福岡県看護協会は、今後ともナースセンター事業を推進し看護職の確保と定着を図る。

また、時代のニーズに対応する人材を育成し、地域包括ケアシステムの構築と推進に取り組むことを目指して、次の3項目を重点事業とする。

【重点事業】

1. 地域包括ケアシステムの構築と推進
2. 地区支部機能の強化
3. 時代のニーズに対応する看護職の人材育成

1. 地域包括ケアシステムの構築と推進

1) 重点事業とした理由・背景

地域包括ケアシステムの構築は地域における効率的かつ質の高い医療を提供する上で、重要な柱とされており、県では、医療計画及び地域医療構想を策定し医療体制の確保・推進に向け取り組みが進められている。高齢化の進展の状況や地域包括ケアシステムの構築の取り組みには地域差が大きく看護職に期待される役割も大きい。看護職は多様化・複雑化する人々の医療ニーズへの対応や、多職種による協働を推進することが求められている。

また、平成27年7月に開設した看護小規模多機能型居宅介護「すびか☆くるめ」は今後ますます公益社団法人福岡県看護協会立の地域密着型サービスとして地域に貢献するとともに、運営の安定化が求められる。

2) 到達目標・実施内容

- (1) 地域包括ケアシステムの推進において看護職が担うべき役割の明確化
 - ・地域の会議等に看護協会代表として出席し、施設代表者会議等で情報の共有を図る
 - ・シンポジウム又は講演会等を実施し看護職が担う役割の明確化を図る
- (2) 地域における看看連携と多職種連携の推進強化
 - ・会議、研修会等で地域における各施設・各職種の機能と役割を相互に理解し連携強化を図る
- (3) 看護小規模多機能型居宅介護「すびか☆くるめ」の安定的な経営
 - ・活動を広報し、利用者の増加を図る

2. 地区支部機能の強化

1) 重点事業とした理由・背景

保健・医療・介護に係る施策を企画し実施する主体は、国から地方に移行しており、地域包括ケアシステムの推進、地域医療構想の実現に当たっては、地域で必要な看護機能を確保し、地域の特性に応じた看護政策が進められようとしている。このため、医療、看護、介護、行政の各関係者が地区毎に顔の見える関係づくりが必要となり、県協会としての活動がますます重要となっている。このため、管轄区域が行政の区域と一致していない地区支部や会員数が少ない地区支部は、運営に支障を生じることがないように地区支部の編成を行い地区支部機能を充実強化したが、今後は新地区支部活動の円滑な運営を図っていく必要がある。

2) 到達目標・実施内容

- (1) 新地区支部活動の円滑な運営
 - ・地区支部長会の運営や施設代表者会議の運営を再考する
 - ・新地区支部の事業は弾力的に運用する
- (2) 非会員施設との連携推進
 - ・非会員施設へ働きかけ、看護協会活動への理解と協力を得る
 - ・看護大学並びに看護専門学校の学生に対し看護協会活動への理解を促進する

3. 時代のニーズに対応する看護職の人材育成

1) 重点事業とした理由・背景

県協会の教育理念は、「人々の普遍的なニーズに対応し、地域の保健・医療・福祉に貢献できる人材を育成する」。また、「倫理を遵守し、専門性の追求と新たな価値の創造に向けた自律的、主体的な生涯教育を支援する」と定めている。時代のニーズに対応する看護職の人材育成は喫緊の課題であり、保健師、助産師、看護師、准看護師の職能別に人材育成を行うとともに在宅・介護分野で働く看護職の教育の充実、また、地域包括ケアシステムを推進するため看護職間の連携強化を図る必要がある。

2) 到達目標・実施内容

- (1) 保健師の人材育成
 - ・保健師のキャリアラダーに呼応した研修体制の構築
- (2) 助産師の助産実践能力の強化
 - ・クリニカルラダー認証制の普及
 - ・院内助産スキルアップ
 - ・新人助産師研修
 - ・周産期管理者研修会及び交流会
- (3) 看護師の資質の向上
 - ・看護師のクリニカルラダー活用の周知と推進
 - ・特定行為研修制度の周知と推進
 - ・認知症対応力向上研修
- (4) 准看護師の進学促進と基礎学力向上に向けた支援
 - ・通信制の入学要件の変更に伴う広報と進学支援
- (5) 在宅・介護分野で働く看護職の教育の充実
 - ・在宅・介護分野で働く管理者の研修と交流会
 - ・看取りの研修
- (6) 災害支援に向けた看護職の育成
 - ・災害時周産期ネットワーク等研修
 - ・災害支援に伴う各職能・災害看護委員会との交流
 - ・災害支援ナースの育成

平成30年度事業計画

は重点事業

【Ⅰ】継続教育等看護の質の向上に関する事業<1-1(1)(2)(5)> [] は事業費(予算)単位:千円

事業科目		主な事業内容
1. 継続教育等看護の質の向上に関する事業 目的: 新人から看護管理者及び看護教員等の幅広い看護職を対象とし、継続教育を通して、専門職としての能力の維持向上及び豊かな人間性を持った看護職の育成を図り、質の高い看護サービスの提供をめざし、県民の保健医療福祉に貢献する。		
1) 教育研修事業 [75,045]	(1) 実践力育成研修	<専門職として求められる能力に関する研修> ①臨床実践能力を高める研修: 28回 ②人間関係能力を高める研修: 6回 ③指導・管理能力を高める研修: 5回 ④准看護師研修: 1回 ⑤トピックス研修: 1回 <専門領域をさらに深めるためのスキルアップ研修> ①看護管理者コース(5日間) ②看護研究コース(7日間) ③退院調整看護師育成コース(3日間)
	(2) 新人看護職員研修事業	①研修責任者研修(5日間)(県委託予定) 定員各40名 9月、10月(2回実施) ・フォローアップ研修(2日間) 1日目: ナースプラザ福岡で実施 2日目: 公開発表会(4地区で実施) 対象: 平成29年度修了者 ②教育担当者研修(5日間) 定員各75名 10月、11月(2回実施) ③実地指導者研修(5日間)(県委託予定) 定員各75名 12月、平成31年1月(2回実施) ④新人看護職員多施設集合研修 5テーマ(12回) 内2テーマは4地区で実施 ⑤アドバイザー派遣事業 7月～平成31年2月 対象: 新人看護職員研修体制が未整備で整備を考えている、または既存の研修体制や研修プログラムに課題があると感じている県内の病院施設
	(3) 日本看護協会インターネット配信研修	テーマ「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」(2日間) 1回目: 6月27日(水)、6月28日(木) 2回目: 8月7日(火)、8月8日(水)
	(4) 看護職員認知症対応力向上研修(県委託予定)	3日間研修 2回開催(予定)
2) 認定看護管理者教育課程 [38,674]	認定看護管理者教育運営委員会企画研修事業	①第30回・第31回ファーストレベル教育課程 各156時間(27日間) 定員各70名 ・第30回 5月9日(水)～8月31日(金) ・第31回 10月4日(木)～平成31年1月25日(金) ②平成31年度(第32回・第33回)受講者選考 定員各70名 平成31年2月頃(予定)
	(1) ファーストレベル	
	(2) セカンドレベル	①第19回セカンドレベル教育課程 定員50名 9月13日(木)～平成31年1月31日(木) 183時間(31日間) ②看護管理実践報告会 平成31年2月3日(日) 対象: 平成29年度セカンドレベル受講者 ③看護管理実践報告集発刊
	(3) サードレベル	①第9回サードレベル教育課程 定員30名 7月3日(火)～9月28日(金) 189時間(32日間) ②看護管理実践報告会 9月30日(日) 対象: 平成28年度サードレベル受講者 ③看護管理実践報告集発刊
	(4) 公開講座	①第30回ファーストレベル 7月7日(土)、7月8日(日) 12時間 ②第31回ファーストレベル 12月22日(土) 3時間 ③第19回セカンドレベル 10月7日(日) 6時間 ④第9回サードレベル 7月4日(水) 6時間

3) 認定看護師教育課程 [38, 507]	(1) 皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程	①第11回皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程 受講生29名 5月8日(火)～12月14日(金) 660時間(8か月) ②フォローアップ研修 認定看護師認定審査に準ずる模擬試験4回 ③平成31年度選抜試験 定員30名以内 試験日 11月29日(木)
	(2) 認定看護師教育機関連絡会	開催：7月頃 1名出席予定 会場：日本看護協会
4) 看護基礎教育等に関する事業 [14, 191]	(1) 福岡県看護実習指導者講習会(県委託)	①福岡県看護実習指導者講習会(予定) 定員82名 240時間(40日間) ②福岡県特定分野看護実習指導者講習会(予定) 定員40名 10月 40時間(6日間)
	(2) 福岡県看護教員継続研修(県委託予定)	①新任期：7月～9月(予定) 定員30名 ・公開研修あり ②中堅期：7月～8月(予定) 定員20名 ③ベテラン期：7月～8月(予定) 定員20名
2. 看護の普及啓発に関する事業 目的：会員・非会員を問わず、看護職及び関係機関に対して、本会の重点事業や各種研修事業、看護学会、看護職就労支援事業など看護の質向上に資する医療・看護関連情報を本会の情報誌「よかナースふくおか」や公式ホームページ、事業関連冊子などを通して提供する。		
事業科目	主な事業内容	
1) 普及啓発事業 [11, 164]	広報出版委員会事業	①広報誌「よかナースふくおか」 年4回発行(1回約42,000部) ②協会案内パンフレット作成 ③その他PR用媒体の作成 ④協会ウェブサイト運用管理
2) 図書室運営事業 [2, 601]	図書運営	図書検討会 2回 ・蔵書の選定、発注、契約、受入等蔵書管理 ・蔵書の登録及び資産管理 ・閲覧、貸出、検索のサポート(利用者支援)

【Ⅱ】看護職の確保・定着等に関する事業<1-2>

1. 看護職の確保・定着等に関する事業 目的：会員・非会員を問わず看護職や看護学生の就業支援を行うとともに、看護職の労働環境の改善を図ることにより、離職を防止し、適切な看護ケアが提供できる人材の確保・定着を図る。		
事業科目	主な事業内容	
1) 看護職員確保推進事業 [99, 905]	(1) ナースセンター・サテライト事業(県委託)	①看護職員就業相談及び就労斡旋 福岡県ナースセンター 月～金曜日(年末年始・祝日を除く) サテライト(福岡・北九州・筑豊・筑後) 月～金曜日(年末年始・祝日を除く) ・来所相談日：火・木曜日(要電話予約) 月・水・金の来所相談は要問合せ ②再就業移動相談 4月～平成31年3月(年39回) 会場：県内各ハローワーク、他福岡県社会福祉協議会等 ③ナースセンター・ハローワーク連携事業 ハローワークとの連携による就業支援(随時) ④病院等訪問巡回相談 月・水・金(原則) ⑤就労相談支援員連絡会 毎月第4金曜日(原則) ⑥就労相談支援員等研修 6月4日(月) ⑦復職支援のための施設見学事業 対象：福岡県内在住でブランク期間に関係なく、6か月以内に就職を希望する看護職 回数：本所・各サテライト 250回/年
	(2) 求人求職実態把握調査(県委託)	①看護職員需要施設・退職者調査 平成31年1月(予定) 対象：県内病院で平成30年1月～12月に退職した人 ②潜在看護職員実態把握調査 12月(予定) 対象：ナースセンター求職登録している未就業看護職
	(3) 看護師等の届出に関すること(県委託)	①看護師等の届出制度の普及啓発 病院等の退職者へ「届出セット」の配布 ②届出した看護師等への就職に関する情報提供

	(4) 看護職員復職 研修事業 (県委託)	福岡県在住でブランクの期間に関係なく未就業で、6か月以内に就職を希望する看護職を対象とした講習会等の開催 ①看護力再開発講習会(基礎コース) 定員各40名 上半期：6月14日(木)～7月3日(火) (内4日間) 下半期：平成31年1月22日(火)～2月13日(水) (内4日間) ②看護職再チャレンジ講習会(実践コース) 定員各30名 上半期：7月10日(火)、7月17日(火) 下半期：平成31年2月26日(火)、3月5日(火) ③看護職のための採血・注射サポート教室 定員：ナースプラザ福岡12名、サテライト各10名 4月～平成31年3月(原則月1回) 14回/年(内6回は4地区【福岡・北九州・筑豊・筑後】のサテライト設置病院) ④地区別復職応援セミナー 定員各10名 9月4日(火)、9月5日(水)：福岡大学病院 10月15日(月)、10月16日(火)：北九州市立医療センター 11月15日(木)、11月16日(金)：久留米大学病院 12月5日(水)、12月6日(木)：総合せき損センター
	(5) 看護職員確保 対策連絡協議会 (県委託)	年2回開催 10月、平成31年2月(予定) 看護職員確保のための方策を協議
	(6) 「看護の日」の 普及啓発	「看護の日」のつどい(共催：福岡県) 5月6日(日) ①県民参加のイベント 会場：J R博多シティ賑わい交流空間 内容：まちの保健室、看護の進路相談コーナー、 女性のからだの相談コーナー、A E D と救急 蘇生の実演、キッズの白衣体験コーナー等 ②講演会 会場：ナースプラザ福岡 ・特別講演「道に迷ったら情熱の傾くほうへ」 講師 村岡 克彦 氏 ・ふれあい看護体験発表 ・看護職県知事表彰
	(7) ふれあい看護 体験	7月2日(月)～7月31日(火) 165施設で実施予定 対象：高校生 参加高校：約100校
	(8) 看護の出前 授業	①出前事業 6月～平成31年3月 対象：中・高校生 内容：「いのちの大切さ、こころとからだの話」 「看護の仕事について」 「看護職への道」 「簡単な看護技術の体験」 講師：講師として登録している福岡県看護協会員を派遣 ②講師連絡会の開催 11月21日(水)
	(9) ナースセンター 事業の広報	①「ナースセンターだより」の発行 年2回(4月、11月) ②機関紙「よかナースふくおか」に「ナースセンターだより」を掲載 年2回(5月、10月) ③ホームページに掲載 ④県及び市町村広報紙に掲載 ⑤WEB広告の掲載等
	2) 看護職員定着推進 事業	(1) 看護職のワーク ・ライフ・バラ ンス推進
	(2) 看護職の賃金 モデル伝達研修	①平成30年度インデックス調査参加施設募集の広報 ②地区別W L B 推進研修会への支援 ③日本看護協会との連携 ④福岡県医療勤務環境改善支援センターとの連携 定員65名 9月28日(金) 対象：病院等の人事及び管理的立場にある職員
	(3) 社会経済福祉 委員会活動	①看護職の職場定着に関する実態把握調査のまとめ ・調査結果分析後のまとめ 4月 ・調査結果のまとめ 冊子作成 5月～6月 ・学会発表 ②委員会企画交流会「看護職の職場定着について」 11月14日(水) 対象：看護管理者

【Ⅲ】看護学会の開催等、学術研究の振興に関する事業<1-1(3)>

1. 看護学会の開催等、学術研究の振興に関する事業		
目的：本学会は、実践に根ざした看護研究の支援を通して看護職の学術研究の振興に努め、県民の保健医療福祉の向上に寄与する。		
事業科目	主な事業内容	
1) 福岡県看護学会 [4,637]	学会委員会事業	<p>第18回福岡県看護学会 12月8日(土) ナースプラザ福岡 テーマ：「いのち・暮らし・尊厳を まもり支える看護実践 ～人が好き、看護が好き、社会に活かす看護の ちから～」</p> <p>・特別講演 「人が好き、看護が好き、社会に活かす看護のちから ～看護の約束 命を守り、暮らしを支える～」 講師 甲南女子大学 教授 秋元 典子 氏</p> <p>・演題発表(口演・示説) ・シンポジウム</p>

【Ⅳ】看護事業・看護制度等の改革・改善等に関する事業<1-1(4)>

1. 看護業務・看護制度の改革・改善等に関する事業		
目的：医療の高度化や人口構造の高齢化等を背景として、看護職の役割に対する社会的期待が増大しており、看護職の意見集約や課題発見・解決に向けての活動を推薦し、看護業務・看護制度の改善・普及啓発等を図る。		
事業科目	主な事業内容	
1) 職能委員会事業 [8,720]	(1) 保健師職能委員会活動	<p>①研修会「健康格差について」 定員100名 日程未定 ②交流会「キャリアラダーの展開」定員100名 9月8日(土) ③保健師・助産師職能合同企画「妊娠期からの母子支援」 研修 定員100名 11月17日(土) 対象：保健師・助産師・看護師・行政職 ④「災害」に関わる委員会の情報交換会 8月25日(土) 対象：災害看護委員会、感染管理委員会、 保健師職能委員会、助産師職能委員会 ⑤日本公衆衛生学会(福岡県) 発表 参加者1名</p>
	(2) 助産師職能委員会活動	<p>①新人助産師研修(5日間) 定員50名 7月21日(土)、8月4日(土)、9月1日(土)、 9月21日(金)、10月6日(土) ②助産師管理者交流会 ・7月7日(土) (筑後) 定員50名 ・7月28日(土) (北九州) 定員50名 ・8月19日(日) (福岡・筑豊) 定員50名 対象：産科管理者(助産師・看護師) ③院内助産スキルアップ研修(4日間) 定員50名 10月27日(土)、11月10日(土)、12月1日(土)、 12月15日(土) ④保健師・助産師職能合同企画「妊娠期からの母子支援」 研修 定員100名 11月17日(土) 対象：保健師・助産師・看護師・行政職 ⑤「災害」に関わる委員会の情報交換会 8月25日(土) 対象：災害看護委員会、感染管理委員会、 保健師職能委員会、助産師職能委員会 ⑥福岡県母性衛生学会(福岡市)、日本看護学会-看護管理- (宮城県)、日本母性衛生学会(新潟県)、日本助産学会(福岡市) 実践報告 参加者各1名 ⑦九州・沖縄地区看護協会共催事業 九州・沖縄地区合同研修(熊本県) 定員200名 10月予定</p>
	(3) 看護師職能委員会Ⅰ活動	<p>①准看護師交流会 定員70名 8月10日(金) 講義「現場で活かせるレポートの書き方」 グループワーク ②看護師のためのクリニカルラダー活用研修 定員100名 平成31年2月22日(金)</p>
	(4) 看護師職能委員会Ⅱ活動	<p>①在宅・施設看取り研修 定員100名 9月15日(土) ②在宅・施設管理者交流会 定員50名 11月17日(土) 内容：組織形態に応じた在宅・施設管理者の役割と地域・ 組織マネジメントの向上</p>

	(5) 合同職能集会	6月30日(土) 認知症サポーター養成講座として開催 講師 インターナショナルエアアカデミー 副学院長 東 久美子 氏
	(6) まちの保健室	共催等：健康21世紀福岡県大会 保健師職能、地区支部 他
2) 看護制度に関する事業 [2,268]	(1) 看護制度に関する政策提言の推進	①管理者研修「看護制度に関する日本看護協会の取り組み」 ・看護基礎教育制度改革の推進 ・准看護師制度の課題解決に向けた取り組み 定員300名 8月18日(土) ②准看護師の進学支援のための奨学金に関するリーフレット作成
	(2) 看護の進路・進学支援委員会事業	①学生への進路選択のアドバイス 5月6日(日) 「看護の日のつどい」における進路相談 ②進路指導の為の説明会 5月23日(水) テーマ：進路指導に活かす『看護への道』説明会 対象：福岡県内の中学校・高等学校の教諭 ③「看護の出前授業」への協力 6月～平成31年3月 ④看護学校と職場の連絡会 8月8日(水) 対象：看護学校教員、県内施設看護管理者
2. 医療安全対策に関する事業 目的：患者・家族の立場を尊重しながら、安心・安全な医療提供実現のため、看護職を対象にした医療・看護の安全意識の確立、安全な知識・看護技術・態度の向上を図る。		
事業科目		主な事業内容
1) 医療安全推進事業 [6,497]	(1) 医療安全推進委員会事業	①医療安全管理者養成研修 eラーニング 定員100名 6月1日(金)～10月10日(水)の4か月間 ・集合研修(2回開催) 7月10日(火)、10月13日(土) ②第14回リスクマネジャースキルアップ研修 定員100名 5月19日(土) ③第15回リスクマネジャースキルアップ研修 定員100名 平成31年2月9日(土) ④研修会/交流会 定員80名 6月23日(土)、平成31年2月23日(土) ⑤医療の質・安全学会学術集会(名古屋) 11月24日(土)～11月25日(日) 参加者1名 ⑥日本看護協会医療安全担当者会議 9月頃
	(2) 看護職損害賠償責任保険制度の推進	①保険制度加入の促進 ②事故発生時の保険制度の活用についての説明
	(3) 医療事故等情報提供及び相談対応	①医療安全等の情報提供 ②事故発生時の情報収集・相談対応 ③医療事故諸問題に関する支援
3. 災害による被災者の支援に関する事業 目的：日本看護協会と協働して、国内の災害発生時に災害支援ナースの派遣ができるように災害支援ナースを育成するとともに、九州地区の災害拠点協会となった場合に備え体制整備を行う。		
事業科目		主な事業内容
1) 災害看護事業 [3,676]	(1) 災害看護委員会事業	①「災害支援ナース養成研修」 ・基礎編(2日間)(日本看護協会オンデマンド配信研修) 定員200名 7月25日(水)、7月26日(木) ・実務編(1.5日間) 定員150名 9月20日(木)、9月21日(金) 対象：基礎編を修了した者 ・フォローアップ研修 定員100名 平成31年2月15日(金) 対象：災害支援ナース登録者 ②日本災害看護学会(神戸市) 8月10日(金)～8月11日(土) 発表 参加者2名 ③都道府県看護協会災害看護担当者会議出席 9月12日(水) ④「災害」に関わる委員会の情報交換会 8月25日(土) 対象：災害看護委員会、感染管理委員会、 保健師職能委員会、助産師職能委員会
	(2) 災害発生時の支援	災害支援ナース派遣調整

	(3) 災害発生時の体制強化	①災害支援ナース登録の推進 よかナース・ホームページの充実及び更新 ②災害支援ナース派遣調整合同訓練(日本看護協会と合同) 11月6日(火)～11月8日(木) ③自治体等災害訓練への参加
	(4) 災害用備品の準備	災害支援ナース備品・携行品の購入及び点検
4. 感染管理に関する事業 目的：看護職に科学的根拠に基づいた感染管理を普及し、感染管理の質向上を図るとともに、県内の保健医療施設における感染管理の支援体制の構築を目指し、県民の保健医療福祉の向上に貢献する。		
事業科目	主な事業内容	
1) 感染管理委員会事業 [2, 288]	(1) 感染管理に関する研修	①現場で活かせる感染管理(感染管理担当者編) 定員70名/公開講座140名 7月23日(月)、7月24日(火)、7月25日(水) 対象：病院等の感染管理担当看護職 ②高齢者施設・療養型病院における感染管理 定員110名 10月22日(月) 対象：高齢者施設・療養型病院に勤務する者 ③精神科領域ならではの感染対策 定員70名 11月19日(月) 対象：感染対策担当者 ④感染管理フォローアップ研修 定員70名 平成31年2月18日(月) 対象：平成30年度「感染管理に関する研修」①を受講した者
	(2) ネットワークづくり	「災害」に関わる委員会の情報交換会 8月25日(土) 対象：災害看護委員会、感染管理委員会、保健師職能委員会、助産師職能委員会
	(3) 感染流行に関する支援	①県内医療関連施設等の感染発生時の相談・支援 ②県内介護施設等の感染予防対策に関するラウンド実施 ③流行性感染症発生時、必要性に応じて研修会を開催予定

【V】訪問看護、居宅介護サービス等事業及び訪問看護の推進支援に関する事業<1-3(1)>

1. 訪問看護、居宅介護サービス等事業及び訪問看護の推進支援に関する事業 目的：本協会の理念に則り、訪問看護サービスやケアマネジメントを必要とする患者及びその家族等、不特定多数の一般県民に質の高い看護サービスを提供することにより、安心・安全な療養生活の実現を図る。また、訪問看護や看護小規模多機能型居宅介護事業を推進する為、研修や交流会を通して訪問看護の質向上を図る。		
事業科目	主な事業内容	
1) 訪問看護ステーション「くるめ」 [178, 607]	(1) 訪問看護事業 (2) 居宅介護支援事業 (3) 看護小規模多機能型居宅介護事業	①訪問看護事業の実践 ②居宅介護支援事業の実践 ③看護小規模多機能型居宅介護「すびか☆くるめ」 ④訪問看護支援コールセンター(訪問看護連絡協議会) ⑤久留米特別支援学校医療的ケア対応(久留米市委託事業)
2) 訪問看護ステーション「こが」 [80, 548]	(1) 訪問看護事業 (2) 居宅介護支援事業	①訪問看護事業の実践 ②居宅介護支援事業の実践 ③地域との交流を促進し、ニーズを把握する(古賀市健康福祉まつり出展、行政行事の救護班参加)
3) 訪問看護ステーション「くるめ」・「こが」	(1) 研修・実習の受け入れ (2) 社会参加に関する委員	①看護大学・医師会看護専門学校 認定看護師教育センター等 ②介護保険審査会委員 ③久留米市介護福祉サービス事業者等の委員
4) 訪問看護推進支援事業 [18, 663]	(1) 訪問看護師養成講習会(県委託)	①新任期 定員50名 6月5日(火)～10月24日(水) (内25日間) 対象：訪問看護に従事して3年未満の看護職(従事予定者を含む) ・公開講座 定員20名 6月6日(水)、7月4日(水)、8月1日(水)、9月19日(水) (4日間) 対象：訪問看護を目指したい看護職(従事希望、従事予定、従事中を含む)

		②中堅期 定員各30名 10月30日(火)、11月6日(火)、11月12日(月) 対象：訪問看護に従事して3年以上の看護職 ③管理者等 定員各30名 11月20日(火)、11月27日(火)、12月4日(火)、 12月11日(火) 対象：訪問看護ステーションの管理者 (管理者候補、管理的立場の看護職を含む)
	(2)訪問看護事業 実態調査 (県委託)	訪問看護に関する実態把握調査 8～10月頃(予定) (訪問看護師養成講習会受講者の状況調査)
	(3)訪問看護従事者の 情報交換会 (県委託)	訪問看護従事者と在宅支援・訪問看護委員との意見交換 10月24日(水)
	(4)在宅支援・訪問 看護委員会事業	訪問看護ステーション管理者企画交流会 定員100名 8月25日(土) 対象：訪問看護ステーション管理者等

【Ⅵ】地域の保健・医療福祉活動等に関する事業<1-3(2)>

1. 地域の保健・医療・福祉活動等に関する事業 目的：地域医療の推進を図る為、研修・研究会等を通して看護の質向上を図るとともに、老若男女を問わず地域住民の誰もが気軽に健康上の相談ができる場を提供し、県民の健康な生活の実現に貢献する。		
事業科目	主な事業内容	
1) 地区支部事業 [20,501]	(1)地区支部活動	①14地区支部：研修、研究発表、介護認定審査会委員の推薦、他団体と共催事業 ②会員数の目標設定
	(2)まちの保健室	①共催等：健康21世紀福岡県大会 (地区支部、保健師職能)他 ②14地区支部：健康相談、脳年齢測定、血圧測定、 体脂肪測定、キッズ白衣体験等
	(3)新人看護職員 研修	新人看護職員多施設集合研修、研修責任者フォローアップ 研修(公開発表会)を4地区で開催予定
	(4)WLB推進事業 の地区への拡大	WLB推進研修及び実践報告会を4地区で開催
2) 電話相談事業 [9,789]	子育て支援電話相談 事業(にんしんSOS ふくおか～思いがけ ない妊娠・子育て・ 思春期相談～)	①電話及びメール相談 相談日：毎日(年末・年始を除く) 対象者：妊婦・乳幼児・思春期 ②事例検討会 ③学会・研修会等への参加
3) 災害対策事業 [2,371]	災害対策	①被災に備えての必要物品等の整備 ②被災時の関係団体との連携 ③被災時の災害支援活動費

【Ⅶ】その他：本会の目的を達成するために必要な事項

1. 国際交流に関する事業 目的：グローバルな社会の中で看護職にとって国境を越えた交流は不可欠であり、医療・社会福祉及び看護について、外国の看護職との交流を通じて、国際交流の促進に必要な活動を行う。		
事業科目	主な事業内容	
1) 国際交流事業	国際交流事業への 協力	JICA集団研修の受け入れ
2. その他 本会の目的を達成するために必要な事業 目的：本会は、会員にとって魅力ある看護協会として、事業を活性化しその浸透を図るため組織を強化し、事務局及び地区支部を挙げて事業の達成に取り組む。		
事業科目	主な事業内容	
1) 本会の組織力の 充実強化	(1)公益社団法人の 組織強化と運営 の充実	公益社団法人として ・公益社団法人の組織の強化 ・理事会・委員会等の活動の充実 ・地区支部との連携強化 ・看護職の職能間連携強化
	(2)地区支部活動の 強化	①施設代表者との連携強化 ②看護教育機関との連携 ③まちの保健室の充実

	(3) 会員確保対策	会員目標数 41,000名 ①看護学生等へのPR ②保健師職能・看護師職能Ⅱ会員の確保 ③施設所属会員の確保 ④会員専用マイページ「キャリアナース」の登録と利用の促進 ⑤事業案内パンフレットの作成
	(4) 会員福利厚生	福利厚生事業の充実 ・ハーモニーランド招待・見舞金支給・新規サービス開拓
	(5) 行政・関係機関との連携強化	①福岡県・福岡市・北九州市等市区町村との連携強化 ②関係団体との連携強化
	(6) 看護連盟との連携	①福岡県看護政策懇話会の開催 年6回 ②合同研修会の開催 1回
	(7) 組織運営	諸会議の開催 ①通常総会 6月30日(土) アクロス福岡 ②合同職能集会 6月30日(土) アクロス福岡 ③理事会：年6回以上 ④常務理事会：必要時 ⑤地区支部長会：年3回 ⑥委員長会：年1回 ⑦委員会会議：委員会毎に定期的に開催 ⑧施設代表者説明会 ⑨平成30年度代議員研修会 5月18日(金) 対象：平成30年度代議員・予備代議員
	(8) 監査	①平成29年度全期監査 5月16日(水) ②訪問看護ステーション上期監査 10月頃 会場：訪問看護ステーション「くるめ」
	(1) 日本看護協会との連携	①通常総会 6月12日(火) パシフィコ横浜 代議員42名出席(役員10名、地区支部32名) ②全国職能別交流集会 6月13日(水) ・保健師交流集会 ・助産師交流集会 ・看護師交流集会Ⅰ ・看護師交流集会Ⅱ ③日本看護協会理事会：6回程度 ④法人会員会(中央)：6回程度 ⑤地区別法人会員会・地区別職能委員長会 11月1日(木)、11月2日(金) (鹿児島県) ⑥全国職能委員長会 8月8日(水)、(未定)
	(2) 都道府県看護協会担当者会議等	①看護労働担当者会議 5月23日(水) ②事務担当者会議 (未定) ③新会員情報管理体制(ナースシップ)担当者会議 7月12日(木) ④訪問看護連絡協議会全国会議 5月(未定)、平成30年2月(未定) ⑤ナースセンター事業担当者会議 5月16日(水) ⑥全国准看護師制度担当役員会議 7月6日(金) ⑦教育担当者会議 8月1日(水)、8月2日(木) ⑧広報担当役員会議 1月(未定) ⑨医療安全推進会議 (未定) ⑩災害看護担当者会議 9月12日(水) ⑪政策責任者会議 (未定)
2) 日本看護協会との連携	(3) 研修会等	①ナースセンター相談員研修会 5月17日(木) ②新会員情報管理体制(ナースシップ)研修受講履歴機能操作説明会 4月24日(火)、4月25日(水) ③平成30年度 診療報酬・介護報酬改定説明会の開催(インターネット配信) 4月10日(火)、4月12日(木)
	(4) 政策への参加	①日本看護協会の重点政策の推進 ②日本看護協会との連携
	3) 施設運営管理	施設整備 ①ナースプラザ福岡3階共用部エリア空調設備増設 ②建物・建物設備中長期保全・改修計画改訂
	4) 収益事業	(1) 施設の貸与 ナースプラザ福岡施設の貸与 ①テナント事務所として5団体に計6部屋提供 ②行政機関等が行う政策的に看護職に関わりがある研修会等へ研修施設等の会場貸し (2) 手数料収入 ①学会及び研修会等における図書の販売を斡旋する手数料 ②飲料の自動販売機手数料